

## 利用案内

### ●開室日・開室時間

火曜日～土曜日 11:00～19:00

### ●休室日

日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月5日)  
その他、帝塚山学院大学が定める日

### ●利用方法

#### 気軽に立ち寄る

常駐スタッフや来場者同士の交流、イベント情報や掲示の閲覧などに、どなたでも自由に立ち寄り、ご利用いただけます。

#### 予約して利用する

セミナーや講座、勉強会、ワークショップ、イベント、展示、交流会、サークル活動、地域活動、会議や打ち合わせ、企画の準備やパソコンを使った活動などにご利用いただけます。

※非営利目的の活動が対象です。

※事前予約が必要です。詳しくは「予約利用の流れ」をご確認ください。

### ●空間と設備

可動式のテーブルや椅子を備え、活動に合わせて柔軟にレイアウトを変えてご利用いただけます。フリーWi-Fi、電源、プロジェクター、ノートパソコン、モニター、マイク、スピーカー、ホワイトボード、ハイフレックス配信機材などを備えています。

## アクセス

堺市南区茶山台1-2-3 泉ヶ丘ひろば専門店街2階

(南海泉北線「泉ヶ丘駅」改札を出て右へ徒歩3分)

※お車で越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

※泉ヶ丘センタービルのエレベーターをご利用のうえ、  
2階連絡デッキを通ってお越しいただくこともできます。



1.改札を出て右折(南出口方面)



2.スターバックス手前で左折



3.エスカレーター・階段で2階へ  
(近畿大学病院方面)



4.奥の通路を右折  
(受付:三井住友信託銀行側)

## 予約利用の流れ



## 予約利用の料金

泉ヶ丘駅コモンズでは、利用形態に応じた料金区分を設けています。参加費を設定している講座やイベント等の場合は、( )内の料金が適用されます。

空間名	席数	1時間あたりの料金
学びの空間(大)	24席	800円(1,200円)
学びの空間(小)	8席	500円(800円)
学びの空間(大+小)	32席	1,200円(1,800円)
共創する空間 (テーブル①～④)	①②は各4席 ③④は各5席	200円(300円) /テーブル毎

※本学関係者、サポーターズ企業、連携協定締結団体、  
本学主催・共催事業関係者は無料です。

※ご利用にはLINE会員登録(無料)が必要です。  
事前に右記QRコードよりご登録ください。

LINE  
会員登録



### お問い合わせ

帝塚山学院大学 社会連携機構

〒590-0113 堺市南区晴美台4-2-2

TEL:072-247-4567 E-mail:osoc@tezuka-gu.ac.jp

## 帝塚山学院大学

〒590-0113 堺市南区晴美台4-2-2 TEL:072-296-1331(代表)

本学は、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が実施する「令和6年度 少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業において、メニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」の対象大学として選定されました。



大学HP



学びと共創の拠点

泉ヶ丘駅コモンズ

帝塚山学院大学と地域をつなぐ

駅前にひらかれた学びと共創の拠点。

堺・泉北地域に関わるさまざまな人が集い、  
学び合いながら、新しいつながりや活動を生み出し、  
地域のウェルビーイングを育てていきます。

帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ





コミュニティマネージャーが常駐し、来場者の交流や活動をサポートします。掲示板上では帝塚山学院大学の活動や、泉ヶ丘駅 commons のイベント、地域の情報を紹介しています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。



共創する空間

ワークショップや地域・趣味の活動、企画の準備、パソコンを使った活動などに

## 空間づくりへの想い

「泉ヶ丘駅 commons」は、クリエイティブユニット graf の家具を取り入れています。木のぬくもりを活かした家具は自由に組み替えることができ、多様な活動とゆるやかなつながりが生まれる環境をかたちとしています。

泉ヶ丘駅 commons に息づくいきもの。人と人のコミュニケーションから生まれるエネルギーを感じ取り、自然と集まってきます。

交流会や展示、イベントなどに



まちに開く空間



学びの空間(大)

学びの空間

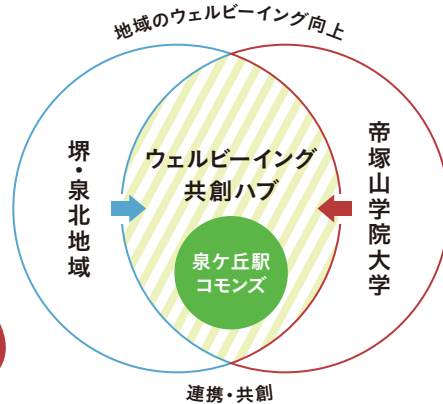


学びの空間(小)

セミナーや講座、勉強会、会議・打ち合わせなどに

## 泉ヶ丘駅 commons とは

泉ヶ丘駅 commons は、帝塚山学院大学ウェルビーイング共創ハブの学外拠点です。誰もが気軽に立ち寄れる駅前の場から、地域のつながりとウェルビーイングを育みます。



ウェルビーイング共創ハブの開設について



### 泉ヶ丘駅 commons 3つの目的

#### 1. ウェルビーイングを育む

家庭や職場、学校とは異なるもう一つの居場所として、誰もが安心して集い、心地よく過ごせる場をつくり、人と地域のウェルビーイングを育みます。

#### 2. つながりを生む

地域の方、学生、大学、企業、行政など多様な人々が出会い、対話と交流を通して、新しい活動や共創の取り組みを生み出します。

#### 3. 学びをひらく

地域に関わる方々と、学生や大学関係者がともに学び合い、地域の魅力や可能性、課題を考えながら、新しい取り組みや活動へとつなげます。

#### commons Commons

誰もがともに使い、ともに育てていく共有の場

#### ウェルビーイング Well-being

単なる健康や幸福ではなく、身体的・精神的・社会的に充実し、安心して暮らせる状態

## 利用事例

### 地域活動

地域の方による編み物教室を定期開催。ものづくりを楽しみながら参加者や来場者との交流が生まれ、地域の中にゆるやかなつながりが育まれています。

共創する空間

地域主催



### 展示

韓国文化をテーマにしたイベント「KカルチャーDAY」を開催。パネル写真展「Z世代が見た韓国」では、学生の感性が生き生きと伝わる写真を介して、学生と参加者の交流が生まれました。

まちに開く空間

大学主催



### 講座

さまざまな切り口からウェルビーイングをテーマにした講座を連続開催。各自の興味関心を通して、ウェルビーイングを自分自身に引き寄せて考える時間をもちました。

学びの空間(大)

大学主催



### イベント

「堺市100人カイギ」を開催。堺市で活動する多様な人々の話をきっかけに、参加者同士の交流が生まれ、新しいつながりが広がりました。

まちに開く空間

地域主催

共創する空間

